

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会（歴史的分野）
----	-----------

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東 書	2	歴史 002-72	新編 新しい社会 歴史	・デジタルコンテンツは、ワークシートや映像、写真資料など、そのページの二次元コードで見ることができる。 ・決まった位置に二次元コードがあるので、生徒が見つけやすく、活用しやすい。 ・単元末の「確かめよう」ではさまざまな種類のチャート図を使って考えることのできる思考ツールが提示されている。 ・生徒が普段あまり使用していないツールもあり、新たな方法を知ることができる。 ・主体的に学習に取り組む態度の育成につながりやすい。 ・歴史の流れを大きく捉えやすい構成・内容である。 ・新型コロナに関する記述はない。 ・兵庫県に関係する内容が多く扱われており、生徒にとって親しみやすい。 ・人権教育の同和教育に関する内容が丁寧に表記されている。 ・学習指導要領に示されている教科横断的な学びを意識した構成である。 ・資料の解説などの文字が小さく、生徒によっては、やや見づらい。 ・尖閣諸島や竹島の領土問題についてコラムで紹介している。 ・P228の南京事件で「南京大虐殺」という表現を使っている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	歴史 017-72	中学社会 歴史 未来をひらく	・見開き 2 ページのタイトルの上に歴史の時代順の目盛りが付いている。紙面の中央にあるので時代の流れが把握しやすい。 ・「学習課題」が生徒にわかりやすい位置に、興味・関心をひく表現で掲載されている。 ・イラストを活用して、キャラクターがさまざまな疑問を提示する構成である。 ・年表の位置が中央にあり、資料や写真も含め、捉えやすい紙面構成となっており、生徒にとって見やすい。 ・「THINK!」コーナーに示されている発問は、生徒の学びを深めることができる内容であり、効果的である。 ・SDGs に関わる記述が多く、歴史学習の中で、SDGs を考える工夫がなされている。 ・タイトルの付け方が工夫されており、生徒の興味をひきやすい。 ・尖閣諸島や竹島など、領土問題について詳しく解説されている。 ・戦前戦後の記述については、出来事が順に記載されている。同ページに掲載されている写真は当時の様子が分かりやすい特色のある写真で、生徒が当時の様子を想像しやすくなっている。 ・資料が多く掲載されているが、その分写真が小さく、生徒にとっては、やや見にくい。 ・学習の初めに「LOOK!」のコーナーで視点を示し、「THINK!」で考え、「TRY!」で学びを生かして考える構成である。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
帝 国	4 6	歴史 046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	・見開き2ページ全体を使った「タイムトラベル」のページが効果的で、生徒がその時代を感じやすい構成である。 ・生徒が歴史の流れを捉えやすい内容構成である。 ・「アクティブ歴史」では、答えが1つではない問いを設定して、対話的な学習に取り組めるように工夫している。 ・思考力、判断力、表現力を高める学習の充実を図ることができる構成である。 ・現代の課題について注視した教材があり、全国水平社の記述など人権問題、防災学習、多様性やSDGsに関する記述が多い。 ・北方領土、尖閣諸島、竹島に関する記述はやや少ない。 ・歴史を地理的分野や事象と関連付けて捉えてあり、生徒が「見方、考え方」を働かせて考えやすくなっている。 ・人権教育における同和教育に関する記述が充実しており、P101のコラム「庭園づくりで活躍した河原者」はケガレの思想から河原者が差別されていたが、彼らの技術が当時の文化を支えていたことがわかる内容である。 ・デジタルコンテンツは、タイムトラベルのイラストが拡大表示でき、見やすくよいが、やや内容が物足りない。 ・学習内容をふり返って説明する「説明しよう」のコーナーが設けられており、言語活動を行うことができる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
山 川	8 1	歴史 081-72	中学歴史 日本と世界 改訂版	・ 北方領土、尖閣諸島、竹島について詳しく解説している。領土問題に対する意識を高める学びが充実している。 ・ 全体的に文字が小さく、見開き 2 ページの文章量が多い。 ・ 各単元の説明内容が詳しくなっており、歴史が好きな生徒にとっては興味をひくが、分量が多く、生徒にとってやや難しい。 ・ 文章量から、見開き 2 ページを 1 時間の授業で行うのがやや難しい。 ・ 太字にしている部分が多く、生徒にとっては、暗記しなければならない内容と感ずる場合もある。 ・ 文章を中心としたページ構成となっており、資料やグラフ、写真が少なくなっている。その影響もあってか、文章量が多いため、資料の解説がやや小さい。 ・ 知識の習得、定着には効果的と感ずるが、主体的に学びに向かう態度の育成につながる内容が少ない。 ・ 漢字のふりがなが適切に表記されており、行間があるため読みやすいレイアウトである。 ・ 一般的には「サラエボ事件」と記載されているが、P214 には、「サライエヴォ事件」と正式な発音を意識した標記になっており、生徒にとってはわかりにくい。 ・ デジタルコンテンツは、拡大すると見やすい点はあるが、教科書に掲載されている資料と同じものが収められている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 文	1 1 6	歴史 116-72	中学社会 歴史的分野	・時代順の目盛りがついているので、時代を把握しやすい。 ・主体的に学びに向かう態度や思考力などを養う場面設定がやや少ない。 ・写真と本文の文章量のバランスが良い。 ・「文化」の取り扱いが多く、重点が置かれてある。 ・P284、P285の「これからの世界と日本の課題」では、副題として持続可能な地球社会をつくることが示されており、SDGsのマークもわかりやすく表示され、生徒がSDGsを意識しやすい構成である。 ・P97の「河原者がつくりだした文化」は、河原者が人に役立つ仕事をしていたにも関わらず、ケガレの思想から差別されていったことを学ぶことができ、人権教育に活用しやすい。 ・紙面構成が全体的に整っており、落ち着いて見ることができ、ユニバーサルデザインの観点からも良い。 ・ふりがなの量も、適切な分量となっており、中学生の発達段階に適している。 ・随所に出てくる「先人に学ぶ」のコーナーではさまざまな視点で人物や人々の生活に着目して紹介しており、生徒が歴史に興味・関心を持ち、歴史の面白さ、楽しさを感じるきっかけとして効果的である。 ・デジタルコンテンツは見開き2ページの1時間の授業をする際に利用しやすい定位置に毎回あり、直接必要な問題や動画が収められており、活用しやすい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
自由社	2 2 5	歴史 225-72	新しい歴史教科書	・資料を盛り込みすぎておらず、シンプルな紙面構成である。 ・単元のタイトル番号が連続していて、節ごとに分かれておらず、歴史が連続しているという実感を持たせる工夫がある。 ・デジタルコンテンツがなく、一人一台端末を活用した授業に繋げにくい。 ・天皇陛下に関する記述が豊富にある。 ・「満州事変」を「支那事変」、「太平洋戦争」を「大東亜戦争」という表現で記載している。 ・多くの歴史上の人物を紹介しており、生徒が人物に興味・関心を持てるように工夫されている。 ・人物の記載が豊富だが、生徒が様々な事象を関連付けて思考を深める場面設定がやや少ない。 ・P136に記載されている江戸の三大改革を比較するページは興味深い内容であるが、情報量がやや多い。 ・章の最後には、学習をふり返り、時代の特徴を考え、意見交換する場面が設定されているが、単元全体を通して対話的な学びを行う場面が、やや少ない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
育鵬社	2 2 7	歴史 227-72	新しい日本の歴史	・北方領土、尖閣諸島、竹島など、領土問題について詳しく解説してある。 ・「学びのナビゲーション」が示され、問題解決的な学習となるよう構成されているが、対話的で深い学びにつながる場面がやや少ない。 ・重要語句にふりがなが振られていないものが多い。 ・人権教育に関する記述がやや少ない。 ・「太平洋戦争」を「大東亜戦争」という表現で記載している。 ・P230 に、日本政府が「満州事変」を「支那事変」と呼んだという記載がある。 ・単元の後にある「学習のまとめ」がワークのような作りである。 ・学習内容をまとめることには適しているが、探究心を高める内容はなく、語句や位置など、知識の定着を確認する内容である。 ・文章と資料など、全体的にバランスは取れている。 ・デジタルコンテンツは、最初に1か所だけ二次元コードがあり、それを読み込むと最初から最後まで資料をひとまとめにしたサイトに移ることができる。 ・コンテンツ内容のほとんどが外部リンクで、NHK for School の映像が多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
令 書	2 3 6	歴史 236-73	国史教科書 第7版	・ A5 サイズよりも小さいサイズだが、約 500 ページであり、授業の進め方にもよるが、通常通りの授業計画で考えると分量が多い。 ・ 縦書きで構成されている。 ・ 北方領土、尖閣諸島、竹島など、領土問題について詳しく解説している。 ・ 「太平洋戦争」を「大東亜戦争」という表現にしている。 ・ P362～P364 の「南京事件」については、民間人に扮した便衣兵も多くいたことなど様々な見解があり、今日でも論争が続いていることが記載されている。 ・ P442、P443 の「従軍慰安婦の強制連行」については、新聞記事を含め、詳しく記載されている。 ・ P443、P444 では、「北朝鮮の拉致問題」について詳しく記載されている。 ・ デジタルコンテンツがなく、一人一台端末を活用した授業につながらない。 ・ 全体的に難解で、中学校の教科書として利用するのは難しい。 ・ 読み物としては興味深いが、中学生という発達段階から考えると、生徒にとってはやや難しい内容となっている。 ・ ディベートやグループ活動などのコーナーもあるが、全体として、対話的な学びにつながる場面が少ない。